

訂正箇所		正誤区分				
金抜設計書 1頁 道路掘削 土砂A、盛土工B	誤	番号	項目番号	項 目	数量	単位
		1	2 - (2)	道路掘削 土砂A	31,748	m³
		2	2 - (2)	道路掘削 土砂B	104,400	m³
		3	2 - (2)	道路掘削 土砂 (表土)	3,850	m³
		4	2 - (3)	客土掘削 土砂A 1	7,573	m³
		5	2 - (3)	客土掘削 土砂A 2	22,315	m³
		6	2 - (5)	盛土工 A 1	5,861	m³
		7	2 - (5)	盛土工 A 2	12,447	m³
		8	2 - (5)	盛土工 B	46,095	m³
		9	2 - (6)	構造物掘削 普通部	7,454	m³
		10	2 - (6)	構造物掘削 特殊部A	910	m³
		11	2 - (6)	構造物掘削 特殊部B	26	m³
		12	2 - (7)	構造物裏込め工 裏込め工B 1	28,612	m³
	正	番号	項目番号	項 目	数量	単位
		1	2 - (2)	道路掘削 土砂A	31,870	m³
		2	2 - (2)	道路掘削 土砂B	104,400	m³
		3	2 - (2)	道路掘削 土砂 (表土)	3,850	m³
		4	2 - (3)	客土掘削 土砂A 1	7,573	m³
		5	2 - (3)	客土掘削 土砂A 2	22,315	m³
		6	2 - (5)	盛土工 A 1	5,861	m³
		7	2 - (5)	盛土工 A 2	12,447	m³
		8	2 - (5)	盛土工 B	46,585	m³
		9	2 - (6)	構造物掘削 普通部	7,454	m³
		10	2 - (6)	構造物掘削 特殊部A	910	m³
		11	2 - (6)	構造物掘削 特殊部B	26	m³
		12	2 - (7)	構造物裏込め工 裏込め工B 1	28,612	m³

訂正箇所		正誤区分				
金抜設計書 4頁 集水ます TypeE、Type F	誤	番号	項目番号	項 目	数量	単位
		37	5 - (3)	集水ます T y p e A	8	箇所
		38	5 - (3)	集水ます T y p e B	1	箇所
		39	5 - (3)	集水ます T y p e D	1	箇所
		40	5 - (3)	集水ます T y p e E	3	箇所
		41	5 - (3)	集水ます T y p e F	7	箇所
		42	5 - (3)	集水ます T y p e L	4	箇所
		43	5 - (3)	集水ます T y p e U 1	1	箇所
		44	5 - (3)	集水ます T y p e U 2	1	箇所
		45	5 - (3)	集水ます T y p e U 3	6	箇所
		46	5 - (6)	用・排水管ののみ口、吐口 F－φ 0. 4 0 (1. 8) (A)	2	箇所
		47	5 - (7)	地下排水工 D u－P－φ 0. 1 5・0. 5 0・0. 5 0	778	m
		48	6 - (1)	継目工 I 型	124	m
	正	番号	項目番号	項 目	数量	単位
		37	5 - (3)	集水ます T y p e A	8	箇所
		38	5 - (3)	集水ます T y p e B	1	箇所
		39	5 - (3)	集水ます T y p e D	1	箇所
		40	5 - (3)	集水ます T y p e E	5	箇所
		41	5 - (3)	集水ます T y p e F	5	箇所
		42	5 - (3)	集水ます T y p e L	4	箇所
		43	5 - (3)	集水ます T y p e U 1	1	箇所
		44	5 - (3)	集水ます T y p e U 2	1	箇所
		45	5 - (3)	集水ます T y p e U 3	6	箇所
		46	5 - (6)	用・排水管ののみ口、吐口 F－φ 0. 4 0 (1. 8) (A)	2	箇所
		47	5 - (7)	地下排水工 D u－P－φ 0. 1 5・0. 5 0・0. 5 0	778	m
		48	6 - (1)	継目工 I 型	124	m

訂正箇所

特記仕様書
12頁
16-1 発生する残存物件と引渡し方法

誤

16. 残存物件の処理に関する事項

16-1 発生する残存物件と引渡し方法

本工事で発生する残存物件及び引渡し方法等は下表のとおりとする。なお、残存物件を引渡す場合は、残存物件調書（様式－3）を提出するとともに、その数量の確認を受けるものとする。

品名	寸法等	数量	単位	引渡し方法
立入防止柵	一般型非積雪地用 H＝1.5m	270	m	幕張南高架下資材置場
仮設防護柵	L＝4.0m	8	m	資材仮置き場 D-S T A. 8＋0付近
樹脂製交通規制材	L＝1.0m	20	個	資材仮置き場 D-S T A. 8＋0付近

なお、これらに要する費用は関連する単価項目に含むものとし別途支払いは行わないものとする。

正

16. 残存物件の処理に関する事項

16-1 発生する残存物件と引渡し方法

本工事で発生する残存物件及び引渡し方法等は下表のとおりとする。なお、残存物件を引渡す場合は、残存物件調書（様式－3）を提出するとともに、その数量の確認を受けるものとする。

品名	寸法等	数量	単位	引渡し方法
立入防止柵	一般型非積雪地用 H＝1.5m	270	m	幕張南高架下資材置場
仮設防護柵	L＝4.0m	16	m	資材仮置き場 D-S T A. 8＋0付近
樹脂製交通規制材	L＝1.0m	20	個	資材仮置き場 D-S T A. 8＋0付近
ガードレール (Gr-A-4E)	L＝4.0m	32	m	資材仮置き場 D-S T A. 8＋0付近

なお、これらに要する費用は関連する単価項目に含むものとし別途支払いは行わないものとする。

訂正箇所		正誤区分					
特記仕様書 24頁 25-4-1 構造物掘削及び構造物裏込め工 種別及び作業	誤	<p>2 5 - 4 構造物掘削及び構造物裏込め工</p> <p>2 5 - 4 - 1 種別及び作業内容</p> <p>(1) 共通仕様書 2 - 8 - 1 に規定する構造物掘削及び構造物裏込め工の作業内容及び単価表の項目種別は次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>作 業 内 容</th></tr><tr><td rowspan="2">普通部</td><td>【大栄橋（下部工）、Cランプ橋（下部工・擁壁）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 2) 残土のC-STA. 7+00～C-STA. 7+50（残土仮置場）への運搬、敷均し3) 含水量の調節</td></tr><tr><td>【第 1 号函渠・擁壁】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ 2) STA. 0+60～STA. 2+80の路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節</td></tr></table>	単価表の項目	作 業 内 容	普通部	【大栄橋（下部工）、Cランプ橋（下部工・擁壁）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 2) 残土のC-STA. 7+00～C-STA. 7+50（残土仮置場）への運搬、敷均し3) 含水量の調節	【第 1 号函渠・擁壁】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ 2) STA. 0+60～STA. 2+80の路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節
	単価表の項目	作 業 内 容					
普通部	【大栄橋（下部工）、Cランプ橋（下部工・擁壁）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 2) 残土のC-STA. 7+00～C-STA. 7+50（残土仮置場）への運搬、敷均し3) 含水量の調節						
	【第 1 号函渠・擁壁】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ 2) STA. 0+60～STA. 2+80の路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節						
	正	<p>2 5 - 4 構造物掘削及び構造物裏込め工</p> <p>2 5 - 4 - 1 種別及び作業内容</p> <p>(1) 共通仕様書 2 - 8 - 1 に規定する構造物掘削及び構造物裏込め工の作業内容及び単価表の項目種別は次のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>作 業 内 容</th></tr><tr><td rowspan="2">普通部</td><td>【大栄橋（下部工）、Cランプ橋（下部工・擁壁）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 2) 残土のC-STA. 7+00～C-STA. 7+50（残土仮置場）への運搬、敷均し3) 含水量の調節</td></tr><tr><td>【第 1 号函渠・擁壁】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) STA. 0+60～STA. 2+80の路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節</td></tr></table>	単価表の項目	作 業 内 容	普通部	【大栄橋（下部工）、Cランプ橋（下部工・擁壁）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 2) 残土のC-STA. 7+00～C-STA. 7+50（残土仮置場）への運搬、敷均し3) 含水量の調節	【第 1 号函渠・擁壁】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) STA. 0+60～STA. 2+80の路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節
単価表の項目	作 業 内 容						
普通部	【大栄橋（下部工）、Cランプ橋（下部工・擁壁）】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 2) 残土のC-STA. 7+00～C-STA. 7+50（残土仮置場）への運搬、敷均し3) 含水量の調節						
	【第 1 号函渠・擁壁】 1) 構造物施工基面からの土砂の掘削 2) STA. 0+60～STA. 2+80の路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節						

訂正箇所		正誤区分							
特記仕様書 25頁 25-4-1 構造 物掘削及び構 造物裏込め工 種別及び作業	誤	<table><tr><td>特殊部A</td><td>1)親杭による締切 2)構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 3)残土のC-STA. 7+00～C-STA. 7+50（残土仮置場）への運搬、敷均し、 ポリエチレン製シートによる養生 4)含水量の調節 5)親杭の引抜、横矢板の撤去及び処分</td></tr><tr><td>特殊部B</td><td>1)鋼矢板による締切 2)構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 3)含水量の調節 4)鋼矢板の切断、撤去及び処分</td></tr><tr><td>裏込め工B 1</td><td>1)成田新泉土取場における客土の掘削、積込み 2)構造物裏込め部への運搬、敷均し、締固め 3)含水量の調節</td></tr></table> <p>受注者の責に帰さない理由により、監督員が必要と認め掘削方法を変更する必要がある場合は、別途監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p>		特殊部A	1)親杭による締切 2)構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 3)残土のC-STA. 7+00～C-STA. 7+50（残土仮置場）への運搬、敷均し、 ポリエチレン製シートによる養生 4)含水量の調節 5)親杭の引抜、横矢板の撤去及び処分	特殊部B	1)鋼矢板による締切 2)構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 3)含水量の調節 4)鋼矢板の切断、撤去及び処分	裏込め工B 1	1)成田新泉土取場における客土の掘削、積込み 2)構造物裏込め部への運搬、敷均し、締固め 3)含水量の調節
	特殊部A	1)親杭による締切 2)構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 3)残土のC-STA. 7+00～C-STA. 7+50（残土仮置場）への運搬、敷均し、 ポリエチレン製シートによる養生 4)含水量の調節 5)親杭の引抜、横矢板の撤去及び処分							
特殊部B	1)鋼矢板による締切 2)構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 3)含水量の調節 4)鋼矢板の切断、撤去及び処分								
裏込め工B 1	1)成田新泉土取場における客土の掘削、積込み 2)構造物裏込め部への運搬、敷均し、締固め 3)含水量の調節								
	正	<table><tr><td>特殊部A</td><td>1)親杭、横矢板による締切 2)構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 3)残土のC-STA. 7+00～C-STA. 7+50（残土仮置場）への運搬、敷均し、 ポリエチレン製シートによる養生 4)含水量の調節 5)親杭の引抜、横矢板の撤去</td></tr><tr><td>特殊部B</td><td>1)鋼矢板による締切 2)構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 3)含水量の調節 4)鋼矢板の切断、撤去及び処分</td></tr><tr><td>裏込め工B 1</td><td>1)成田新泉土取場における客土の掘削、積込み 2)構造物裏込め部への運搬、敷均し、締固め 3)含水量の調節</td></tr></table> <p>受注者の責に帰さない理由により、監督員が必要と認め掘削方法を変更する必要がある場合は、別途監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p>		特殊部A	1)親杭、 横矢板 による締切 2)構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 3)残土のC-STA. 7+00～C-STA. 7+50（残土仮置場）への運搬、敷均し、 ポリエチレン製シートによる養生 4)含水量の調節 5)親杭の引抜、 横矢板の撤去	特殊部B	1)鋼矢板による締切 2)構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 3)含水量の調節 4)鋼矢板の切断、撤去及び処分	裏込め工B 1	1)成田新泉土取場における客土の掘削、積込み 2)構造物裏込め部への運搬、敷均し、締固め 3)含水量の調節
特殊部A	1)親杭、 横矢板 による締切 2)構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 3)残土のC-STA. 7+00～C-STA. 7+50（残土仮置場）への運搬、敷均し、 ポリエチレン製シートによる養生 4)含水量の調節 5)親杭の引抜、 横矢板の撤去								
特殊部B	1)鋼矢板による締切 2)構造物施工基面からの土砂の掘削、はねつけ、埋戻し、締固め 3)含水量の調節 4)鋼矢板の切断、撤去及び処分								
裏込め工B 1	1)成田新泉土取場における客土の掘削、積込み 2)構造物裏込め部への運搬、敷均し、締固め 3)含水量の調節								

訂正箇所		正誤区分																															
特記仕様書 27頁 25-8-1 集水 ます 種別	誤	2 5 - 8 集水ます 2 5 - 8 - 1 種別 共通仕様書 5 - 4 - 2 (4) 「集水ますの種別」に以下を追加する。																															
		<table><tr><th>単価表の項目</th><th>設計図書に示す記号</th><th>標準コンクリート量</th></tr><tr><td>T y p e A</td><td>Dc-S-0.60-0.80-0.38</td><td>0.28m³</td></tr><tr><td>T y p e B</td><td>Dc-S-0.60-0.80-0.35</td><td>0.43m³</td></tr><tr><td>T y p e D</td><td>Dc[^]-0.80-0.80-0.80</td><td>0.87m³</td></tr><tr><td>T y p e E</td><td>Dc[^](D)-0.60-0.60-1.40 Dc[^](D)-0.70-0.70-1.10</td><td>Dc-S-0.80-0.80-1.20 1.14m³</td></tr><tr><td>T y p e F</td><td>Dc-M-0.80-0.80-1.18 Dc[^](GL2)-1.20-1.00-1.20(F)</td><td>Dc[^](GL2)-1.20-1.00-1.10(F) 1.43m³</td></tr><tr><td>T y p e L</td><td>Dc[^](SP)-1.00・1.00・2.00 Dc[^](GL2)-1.40-1.20-1.20(F) Dc[^](GL2)-1.40-1.20-1.40(F) Dc[^](GL2)-1.40-1.40-1.50(F)</td><td>Dc[^](GL2)-1.30-1.10-1.30(F) Dc[^](GL2)-1.20-1.00-1.50(F) Dc[^](GL2)-1.40-1.20-1.50(F) 2.04m³</td></tr><tr><td>T y p e U 1</td><td>Dco(B)-1.00-3.30-1.30</td><td>4.39m³</td></tr><tr><td>T y p e U 2</td><td>D c -W</td><td>0.17m³</td></tr><tr><td>T y p e U 3</td><td>D c -D i</td><td>0.21m³</td></tr></table>		単価表の項目	設計図書に示す記号	標準コンクリート量	T y p e A	Dc-S-0.60-0.80-0.38	0.28m ³	T y p e B	Dc-S-0.60-0.80-0.35	0.43m ³	T y p e D	Dc [^] -0.80-0.80-0.80	0.87m ³	T y p e E	Dc [^] (D)-0.60-0.60-1.40 Dc [^] (D)-0.70-0.70-1.10	Dc-S-0.80-0.80-1.20 1.14m ³	T y p e F	Dc-M-0.80-0.80-1.18 Dc [^] (GL2)-1.20-1.00-1.20(F)	Dc [^] (GL2)-1.20-1.00-1.10(F) 1.43m ³	T y p e L	Dc [^] (SP)-1.00・1.00・2.00 Dc [^] (GL2)-1.40-1.20-1.20(F) Dc [^] (GL2)-1.40-1.20-1.40(F) Dc [^] (GL2)-1.40-1.40-1.50(F)	Dc [^] (GL2)-1.30-1.10-1.30(F) Dc [^] (GL2)-1.20-1.00-1.50(F) Dc [^] (GL2)-1.40-1.20-1.50(F) 2.04m ³	T y p e U 1	Dco(B)-1.00-3.30-1.30	4.39m ³	T y p e U 2	D c -W	0.17m ³	T y p e U 3	D c -D i	0.21m ³
		単価表の項目	設計図書に示す記号	標準コンクリート量																													
		T y p e A	Dc-S-0.60-0.80-0.38	0.28m ³																													
		T y p e B	Dc-S-0.60-0.80-0.35	0.43m ³																													
		T y p e D	Dc [^] -0.80-0.80-0.80	0.87m ³																													
		T y p e E	Dc [^] (D)-0.60-0.60-1.40 Dc [^] (D)-0.70-0.70-1.10	Dc-S-0.80-0.80-1.20 1.14m ³																													
		T y p e F	Dc-M-0.80-0.80-1.18 Dc [^] (GL2)-1.20-1.00-1.20(F)	Dc [^] (GL2)-1.20-1.00-1.10(F) 1.43m ³																													
		T y p e L	Dc [^] (SP)-1.00・1.00・2.00 Dc [^] (GL2)-1.40-1.20-1.20(F) Dc [^] (GL2)-1.40-1.20-1.40(F) Dc [^] (GL2)-1.40-1.40-1.50(F)	Dc [^] (GL2)-1.30-1.10-1.30(F) Dc [^] (GL2)-1.20-1.00-1.50(F) Dc [^] (GL2)-1.40-1.20-1.50(F) 2.04m ³																													
		T y p e U 1	Dco(B)-1.00-3.30-1.30	4.39m ³																													
T y p e U 2	D c -W	0.17m ³																															
T y p e U 3	D c -D i	0.21m ³																															
	正	2 5 - 8 集水ます 2 5 - 8 - 1 種別 共通仕様書 5 - 4 - 2 (4) 「集水ますの種別」に以下を追加する。																															
		<table><tr><th>単価表の項目</th><th>設計図書に示す記号</th><th>標準コンクリート量</th></tr><tr><td>T y p e A</td><td>Dc-S-0.60-0.80-0.38</td><td>0.28m³</td></tr><tr><td>T y p e B</td><td>Dc-S-0.60-0.80-0.35</td><td>0.43m³</td></tr><tr><td>T y p e F</td><td>Dc[^](GL2)-1.20-1.00-1.20(F) Dc[^](GL2)-1.20-1.00-1.10(F)</td><td>1.43m³</td></tr><tr><td>T y p e L</td><td>Dc[^](GL2)-1.40-1.20-1.40(F)</td><td>1.65m³</td></tr><tr><td>T y p e U 1</td><td>Dco(B)-1.00-3.30-1.30</td><td>4.39m³</td></tr><tr><td>T y p e U 2</td><td>D c -W</td><td>0.17m³</td></tr><tr><td>T y p e U 3</td><td>D c -D i</td><td>0.21m³</td></tr></table>		単価表の項目	設計図書に示す記号	標準コンクリート量	T y p e A	Dc-S-0.60-0.80-0.38	0.28m ³	T y p e B	Dc-S-0.60-0.80-0.35	0.43m ³	T y p e F	Dc [^] (GL2)-1.20-1.00-1.20(F) Dc [^] (GL2)-1.20-1.00-1.10(F)	1.43m ³	T y p e L	Dc [^] (GL2)-1.40-1.20-1.40(F)	1.65m ³	T y p e U 1	Dco(B)-1.00-3.30-1.30	4.39m ³	T y p e U 2	D c -W	0.17m ³	T y p e U 3	D c -D i	0.21m ³						
		単価表の項目	設計図書に示す記号	標準コンクリート量																													
		T y p e A	Dc-S-0.60-0.80-0.38	0.28m ³																													
		T y p e B	Dc-S-0.60-0.80-0.35	0.43m ³																													
		T y p e F	Dc [^] (GL2)-1.20-1.00-1.20(F) Dc [^] (GL2)-1.20-1.00-1.10(F)	1.43m ³																													
		T y p e L	Dc [^] (GL2)-1.40-1.20-1.40(F)	1.65m ³																													
		T y p e U 1	Dco(B)-1.00-3.30-1.30	4.39m ³																													
		T y p e U 2	D c -W	0.17m ³																													
		T y p e U 3	D c -D i	0.21m ³																													

訂正箇所		正誤区分									
特記仕様書 42頁 25-28-2 土 砂流出防止柵 工 種別	誤	25-28-2 種別 土砂流出防止柵工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>内 容</th><th>摘要</th></tr><tr><td>A</td><td>設計図書に示す盛土のり面に対し、親杭材（松杭丸太、末口φ150）、壁面材（松矢板、 t＝30mm、 L＝4m）を用いた土砂流出防止柵を設置・撤去するもの。（リース品）</td><td>設置期間 STA. 103+00～STA. 106+40：3 ヶ月 STA. 0+60～STA. 2+80：16 ヶ月</td></tr><tr><td>B</td><td>設計図書に示す切土のり面に対し、支柱材（単管パイプφ48.6）、壁面材（松矢板、 t＝30mm、 L＝4m）を用いた土砂流出防止柵を設置・撤去するもの。（リース品）</td><td>設置期間 STA. 0+60～STA. 2+80：3 ヶ月</td></tr></table>	単価表の項目	内 容	摘要	A	設計図書に示す盛土のり面に対し、親杭材（松杭丸太、末口φ150）、壁面材（松矢板、 t＝30mm、 L＝4m）を用いた土砂流出防止柵を設置・撤去するもの。（リース品）	設置期間 STA. 103+00～STA. 106+40：3 ヶ月 STA. 0+60～STA. 2+80：16 ヶ月	B	設計図書に示す切土のり面に対し、支柱材（単管パイプφ48.6）、壁面材（松矢板、 t＝30mm、 L＝4m）を用いた土砂流出防止柵を設置・撤去するもの。（リース品）	設置期間 STA. 0+60～STA. 2+80：3 ヶ月
		単価表の項目	内 容	摘要							
A	設計図書に示す盛土のり面に対し、親杭材（松杭丸太、末口φ150）、壁面材（松矢板、 t＝30mm、 L＝4m）を用いた土砂流出防止柵を設置・撤去するもの。（リース品）	設置期間 STA. 103+00～STA. 106+40：3 ヶ月 STA. 0+60～STA. 2+80：16 ヶ月									
B	設計図書に示す切土のり面に対し、支柱材（単管パイプφ48.6）、壁面材（松矢板、 t＝30mm、 L＝4m）を用いた土砂流出防止柵を設置・撤去するもの。（リース品）	設置期間 STA. 0+60～STA. 2+80：3 ヶ月									
	正	25-28-2 種別 土砂流出防止柵工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。 <table><tr><th>単価表の項目</th><th>内 容</th><th>摘要</th></tr><tr><td>A</td><td>設計図書に示す盛土のり面に対し、親杭材（松杭丸太、末口φ150）、壁面材（松矢板、 t＝30mm、 L＝4m）を用いた土砂流出防止柵を設置・撤去するもの。<div></div></td><td>設置期間 STA. 103+00～STA. 106+40：3 ヶ月 STA. 0+60～STA. 2+80：16 ヶ月</td></tr><tr><td>B</td><td>設計図書に示す切土のり面に対し、支柱材（単管パイプφ48.6）、壁面材（松矢板、 t＝30mm、 L＝4m）を用いた土砂流出防止柵を設置・撤去するもの。<div></div></td><td>設置期間 STA. 0+60～STA. 2+80：3 ヶ月</td></tr></table>	単価表の項目	内 容	摘要	A	設計図書に示す盛土のり面に対し、親杭材（松杭丸太、末口φ150）、壁面材（松矢板、 t＝30mm、 L＝4m）を用いた土砂流出防止柵を設置・撤去するもの。 <div></div>	設置期間 STA. 103+00～STA. 106+40：3 ヶ月 STA. 0+60～STA. 2+80：16 ヶ月	B	設計図書に示す切土のり面に対し、支柱材（単管パイプφ48.6）、壁面材（松矢板、 t＝30mm、 L＝4m）を用いた土砂流出防止柵を設置・撤去するもの。 <div></div>	設置期間 STA. 0+60～STA. 2+80：3 ヶ月
		単価表の項目	内 容	摘要							
A	設計図書に示す盛土のり面に対し、親杭材（松杭丸太、末口φ150）、壁面材（松矢板、 t＝30mm、 L＝4m）を用いた土砂流出防止柵を設置・撤去するもの。 <div></div>	設置期間 STA. 103+00～STA. 106+40：3 ヶ月 STA. 0+60～STA. 2+80：16 ヶ月									
B	設計図書に示す切土のり面に対し、支柱材（単管パイプφ48.6）、壁面材（松矢板、 t＝30mm、 L＝4m）を用いた土砂流出防止柵を設置・撤去するもの。 <div></div>	設置期間 STA. 0+60～STA. 2+80：3 ヶ月									